

新車、中古車販売のオニキスが電動バイクの販売を開始 株GLPが中国から輸入するリチウム電池搭載の「ヴィクーニャ」

ユーザーの多様なニーズに対応すると同時に、
エコ商材で店舗のイメージアップ、活性化

新車に半額で乗れる残価設定型ローン「ワンナップシステム」(1UP)で知られるオニキス(本部/株式会社オートコミュニケーションズ、本社・東京都世田谷区池尻、代表取締役社長・鄭 敏)が、ベンチャー企業 株式会社 GLP(本社・静岡県御前崎市、社長・吉谷 義隆)が輸入する電動バイクの販売を開始する。オニキスは国産全メーカーの全車種をメーカー横断で販売しているが、2輪の販売は始めて。3月下旬より、全国のオニキス各店で順次販売開始する。

排ガスや騒音を全く出さず、電池とモーターだけで走る電動バイクは、節約志向やエコ志向の中で人気になりつつある。オニキスでは、すでに車を持っているが電動バイクに乗ってみたいというユーザーのニーズへの対応を図るとともに、まだ車を持っていないが騒音、排気のない電動バイクに乗ってみたいという顧客の取り込みで、将来の4輪購入に結びつけたいというねらいがある。若者の車離れがさやかれる中、16歳で免許のとれる原付2輪から若者を囲い込むことも視野に入れる。また、エコ商材への取り組みによる店舗のイメージアップ、活性化も期待できる。

オニキスが販売する電動バイクは、GLPが中国から輸入する「ヴィクーニャ」シリーズ。原付きの600Wクラス3車種、125CC相当の1000Wクラスが3車種。価格は268,000円~389,000円。

小型軽量、高性能リチウムイオン電池を搭載し、本体から簡単に取り外して自宅の100ボルト家庭用コンセント電源で充電できるのが特徴(車体に取付けられた小型充電器でも充電できるプラグインの2WAY方式)。また前後両輪にインホイールモーターを搭載、電動スクーターの最大の弱点トルク不足を解消し、直進安定性も高めている。この2輪駆動方式は中国製電動バイクでは、「ヴィクーニャ」が初めて。

オニキスでの販売は全国一斉ではなく、販売希望の加盟店を募集し、順次全国に拡大していく方針。取扱店では新車、中古車のチラシの中に、電動バイクも加えて顧客に訴求する。取扱店舗からの発注はオニキス本部で受付、取りまとめてGLPに発注する。当面は「ワンナップシステム」での販売は行わず、現金またはクレジット販売となる。

従来のガソリンオートバイはメーカー系列があり、他社メーカーの製品を扱ったり、自動車販売店が新車オートバイを販売することができなかった。電動バイクになって、そうした制約が取り除かれ、量販店や町の電気屋さんでも電動バイクを販売できる新時

代となった。4輪自動車販売店のオニキスによる電動バイク販売は、こうした新時代を象徴するものとなる。

なお、オニキスでは電動バイク2車種に加えて、同じく株式会社GLPが輸入する運転免許のいらない電動アシスト式の「リストシリーズ」タイプA、同じシリーズでデザインもほぼ同じで原付き免許が必要なフル電動自走式のタイプMの2車種の販売も行う。2種ともリチウムイオン電池を搭載し、コンパクトに折り畳み、軽自動車のトランクにも収納できる。通勤や買い物だけでなく、レジャーやリゾートでの利用に最適で、カーライフの楽しみをより広げるものとして購入が見込まれる。

オニキスが取り扱う「ヴィクーニャ」シリーズ

車種	特徴
ラピド 600 (RAPIDO600)	原付クラス。295W+300W デュアルモーター
ラピド (RAPIDO)	125CC クラス。495W+500W ブラシレスデュアルモーター
アクティボ 600 (ACTIVO600)	原付クラス。295W+300W ブラシレスデュアルモーター
アクティボ (ACTIVO)	125CC クラス。495W +500W デュアルモーター
ピオネロ (Pionero)	125CC クラス。495W+500W ブラシレスデュアルモーター
エスタンダード 500 (Estandar500)	原付クラス。500W ブラシレスモーター
リストシリーズ (LIST) A	電動アシスト式。200W ブラシレスモーター
リストシリーズ (LIST) M	原付登録。フル電動自走式。200W ブラシレスモーター

小型軽量、高性能リチウムイオン電池を採用

小型軽量、高性能リチウムイオン電池を採用し、本体から簡単に取り外してマンションなど自宅の100ボルト家庭用コンセント電源で充電できる（車体に取付けられた小型充電器でも充電できるプラグインの2WAY方式）

インホイールモーターで、2輪駆動

また「エスタンダード 500」、「リストシリーズ」を除き、前後両輪にインホイールモーター（タイヤのホイール内側にモーターを組み込んだタイプ）を搭載、電動スクーターの最大の弱点トルク不足を解消し登坂力を高め、直進安定性も高めている。

バッテリーは取り外し、自宅に持ち込み充電できる

シート下のトランクスペース（ヘルメットなど収納）の下にリチウムバッテリーを収納し、バッテリー本体を取り出すことができる。専用充電器を使用し、家庭のコンセントで充電できるほか、車載充電器でプラグイン充電も可能。バッテリー重量は20AH（48V）で9.5kg、30AH（48V）で12kgと女性でも持ち運びできる。1回の充電（約6～8時間）で、「最大約80km（経済速度による平地走行）の距離を走ることができる。1回のフル充電に要する電気料金は30円前後で、1km当たりの電気代は約0.4円前後と一般的なスクーター（ガソリン1ℓあたり70km走行）に比べて走行コストは1/4～1/5で済む。
※ガソリン1ℓ約120円で計算

製造元は電動バイク先進国、中国浙江省のメーカー

中国浙江省のメーカーで、アメリカ、ヨーロッパに2万6千台以上の輸出実績
製造元は電動バイク先進国、中国浙江省のメーカーで、2007年より電動バイクの生産を始め、アメリカ、カナダ、ギリシャ、イタリア、スペインなどを中心に、これまで2万6千台以上の輸出実績がある。EUの公的機関によるEEC認証も受けている。

保証はタイヤ以外、バッテリーを含めて1年間

保証はタイヤ以外、バッテリーを含めて1年間(バッテリーの容量低下は保証対象外)。

参考

第一種原動機付自転車の範囲は、電動機の場合、定格出力600Wまでに限られる。この範囲の電動スクーターであれば、原付免許または普通運転免許で運転できる。それを超える600W超1000W以下を第二種原動機付自転車とし、普通自動二輪(小型限定)以上(普通自動二輪免許又は大型自動二輪免許)が必要となる。



アクティボ 389,000円
アクティボ600 298,000円



ラピド 389,000円
ラピド600 289,000円



ピオネロ 389,000円



エスタンダール500 268,000円



リスト タイプ A 118,000 円



リスト タイプ M 128,000 円



リスト タイプは折り畳んで、
軽自動車のトランクにも入る



左から「ラピド 600」、「ラピド」、「アクティボ 600」、「アクティボ」



左アクティボ（1000W）、右ラピド 600（600W）

■「ヴィクニーヤ」の詳しい報道資料は以下で参照できます。

<http://www.info-ginza.com/glp/>

■ONIX 本部連絡先

(株) オートコミュニケーションズ 梅木
東京都世田谷区池尻 2-37-11 オニクスビル 7F
TEL : 03-3795-0511
<http://www.onix.co.jp/>

■株式会社 GLP

株式会社 GLP（グローバルライフパートナー） 小林禎嗣／村田 雅樹
本社 静岡県御前崎市池新田 4783-1 〒437-1612 ☎0537-88-5121
ショールーム 静岡県御前崎市池新田 5862-21 〒437-1612 ☎0537-86-9002

■この件に関する報道関係者の取材のお問合せは
ONIX 広報事務局（インフォメーションセンター）

東京都中央区銀座 1-22-10 銀座ストークビル
電話 03-3563-3181 FAX 03-3562-5267
佐々木 勉（携帯電話 090-4729-0545） E-Mail sasaki@info-ginza.com
佐々木 創平（携帯電話 090-4727-4167） E-Mail sohei@info-ginza.com